

一般社団法人長岡青年会議所
2020年度 第10回 理事会
議事録

日 時： 2020年7月22日 水曜日 19:00～21:05
場 所： Web会議
出席者： 出欠表参照

1. 開会宣言 : 金子隼人専務理事
2. JCI Creed 唱和 : 矢澤貴史理事
3. JCI Mission並びに
JCI Vision 唱和 : 赤川朋哉平和の想いを結ぶ委員会委員長
4. JC 宣言文朗読並びに綱領唱和 : 小熊孝幸理事
5. 長岡 JC 宣言唱和 : 佐藤太洋理事
6. 議事録作成人の指名 : 総務委員会 (伊部貴成)
7. 定足数の確認及び配布資料の確認

定足数：19時05分、理事36名中33を確認。出席率91.6%

定足数を満たし、会議の成立が宣言された。

事前配布資料：20_riji_10

当日配付資料：無し

8. 理事長挨拶 (別紙) : 今泉知久理事長
9. 直前理事長挨拶 : 上村英輔直前理事長欠席のため割愛
10. 議長選出

定款第37条第1項の規定により、今泉知久理事長が議長に選出された。

11. 前回議事録の承認

第2回臨時理事会議事録については未作成のため、次回理事会において上程延期となった。

12. 審議事項 (別紙)

13. 協議事項 (別紙)

- (1) 1ヵ月チャレンジ!!あるこーれ、自分のからだしろーれ リボーン事業計画並びに予算 (案) について
森山和良 より良く長く委員会副委員長より上程され、次回再上程となった。
- (2) 「Good Days Town～君の理想のまちを語れ～」事業計画並びに予算 (案) について
兼古健太 まちづくり委員会委員長より上程され、次回再上程となった
- (3) 65周年特別事業 Hope for the world 事業報告並びに決算 (案) について
中村洋志 おまつり委員会委員長及び兼古健太 まちづくり委員会委員長より上程され、協議の結果
審議に格上げされ、全会一致をもって承認可決された。
- (4) 一般社団法人長岡青年会議所 祈念誌～明るい未来を祈念し希望に繋ぐ～ 事業計画並びに予算 (案)
について

土田慶和 65周年特別委員会委員長より上程され、協議の結果審議に格上げされ、全会一致をもって承認可決された。

- (5) 9月担当例会「そして歩き出す～ミライへ向けてイマと向き合う～」事業計画並びに予算(案)について

小川文太 青少年スポーツ推進委員会 委員長より上程され、次回再上程となった。

14. 討議事項 : 討議事項が無い為割愛

15. 報告・依頼事項

- (1) 「第37回柿川灯籠流し～慰霊の想いを結ぶ灯～」について

赤川朋哉 平和の想いを結ぶ委員会委員長より、2020年7月23日午前6時スタートの柿川清掃についての参加依頼があった。

- (2) 「常在戦場～未来へつなぐ長岡まつり～」について

中村洋志 おまつり委員会委員長より、参加依頼(長岡甚句の動画投稿のお願い)があった。

- (3) 「おうちでからだ創りサマープログラム2020」について

小川文太 青少年スポーツ推進委員会委員長より、プログラム参加の依頼があった。

16. 次回開催日の確認

日時: 2020年8月19日 水曜日 19:00 ~

場所: Web会議

17. 監事講評(別紙) : 高見礼央監事

18. 閉会宣言 : 金子隼人専務理事

年 月 日 曜日

理事長：

監事： _____ 印

監事： _____ 印

議事録作成人： _____ 印

一般社団法人長岡青年会議所
2020年度 第10回 理事会
議事録（別紙）

8. 理事長挨拶 : 今泉知久理事長

本日の理事会は、オブザーバーの方を含め50名近いご参加をいただきありがとうございます。

私はこの度、長岡青年会議所の理事長という立場で長岡まつり統括本部会議へ参加させていただきました。長岡市長からのメッセージにもありましたように、本年は自宅で平和祭という形となろうかと思えます。そのような環境下においても、様々な団体が工夫を凝らし長岡まつりに向けた催しを行うことを計画しています。我々長岡青年会議所が、これら多くの団体と協力し、それらの大車輪となり率先して活躍している姿を誇らしく思っております。これもひとえに理事の皆様をはじめとした、メンバー皆様全員の活動に対する理解と日々の努力の賜物かと思えます。長岡まつりまで残すところ約10日間となりました。様々な事業が控えておりますので、より一層のお力添えをいただきたいと思えます。

昨日、米百俵フェスの開催発表がありました。このコロナ禍の中で大規模なイベントを行うことは、非常に困難な道ではありますが、我々も率先して協力し携わる必要があると考えています。そしてこのような環境下において、長岡青年会議所が活動を行うべきかどうかの議論はありますが、我々は歩みを止めることなく進んでいく必要があります。当然に行政がストップした場合、足を止める必要があると考えています。しかし我々は、時代の先駆けとなる存在であり長岡の希望となる活動を行っていく必要があります。メンバーの皆様と共に挑戦していきたいと考えています。

12. 審議事項及び13. 協議事項

- (1) 1ヵ月チャレンジ!!あるこーれ、自分のからだしろーれ リボーン事業計画並びに予算（案）について

【説明】五十嵐佑一常任理事

こちらの議案につきまして、既に理事会を通過いたしました。コロナ禍の中、対外の参加者を交えて行う事は困難であると判断し、対内メンバー向けに内容を変更し実施したいと考えています。詳細につきましては、森山和良 より良く長く委員会副委員長より説明をお願いします。

【説明】森山和良 より良く長く委員会副委員長

五十嵐佑一常任理事より説明がありましたが、今回の議案については、対内メンバー向けにしています。コストもかけず、規模を縮小した内容となっています。皆様の忌憚なきご意見をいただければと思います。

Q：西方太地理事

歩数の計測は、歩くだけでなく走ることも計測対象でしょうか。

A：森山和良 より良く長く委員会副委員長

走るも計測対象となります。

Q：加藤弦太理事

規模を縮小した理由について教えてください。

A：森山和良 より良く長く委員会副委員長

コロナ禍の中での対応となり、対外及び対内メンバーが集まり活動を行うことは感染拡大防止の観点から困難であると判断し対内メンバーのみとしました。

O：加藤弦太理事

事業内容から判断すれば、皆で集まり行う内容ではないため、対外の参加者を加えることが可能ではないでしょうか。

A：森山和良 より良く長く委員会副委員長

本来、対外参加者を加えた形で実施したいのですが、使用する歩数計測アプリケーションソフトが個々の参加者によって異なること、歩数の申告は自己申告となることを踏まえ、対外参加者全員の情報が入手できなくなることから対内メンバーのみでの実施を考えています。

O：米山悟史理事

アンケートについては、どういった点が良かったか、習慣化できたかということ盛り込むと、長岡市への提言情報として有用となるかと思います。

A：森山和良 より良く長く委員会副委員長

アンケート内容について一考させていただきます。

O：矢澤貴史理事

参加率の向上や集計漏れを防止するために、Webアンケートの活用をしてみてもいいでしょうか。

A：森山和良 より良く長く委員会副委員長

議案に記載した資料についてはワードデータにて作成しています。実際はWebアンケートを活用して実施予定です。

以後の内容については、次回の理事会上程の際に回答を行うことになった。

O：小熊孝幸理事

議案の対内メンバーの人員数の数値に誤りがあるため修正をお願いします。

Q：小熊孝幸理事

実施後長岡市へ提言する内容となっていますが、対内メンバーのアンケートのみを出すことに有用性はあるのでしょうか。

【結果】 次回再上程となった

(2) 「Good Days Town～君の理想のまちを語れ～」事業計画並びに予算（案）について

【説明】 関光太常任理事

こちらの議案につきまして、既に理事会を通過した議案ではありますが、皆で集まり活動を行う事が困難となったことを踏まえ、再度より良い事業とするために事業内容を構築し上程させていただくものです。詳細につきましては、まちづくり委員会委員長より説明をお願いします。

【説明】 兼古健太 まちづくり委員会委員長

関光太常任理事より説明がありましたが、既に理事会へ議案上程させていただき通過したのですが、コロナ禍の中で、実際に若皆で集まり意見を交わす機会を設けることができなくなったため、事業内容と予算を修正し再度上程を行うものです。若者からのアンケートをもとに、今後の事業を進めていく内容となっています。皆様の忌憚なきご意見をいただければと思います。

Q：長谷川繁理事

1回目のアンケート内容を見る限りにおいて、対外目的である長岡の郷土愛や愛着を考えるような内容がないと考えられますがいかがでしょうか。

A：兼古健太 まちづくり委員会委員長

長岡に自分自身が住む、働くために何が必要かという情報を入手することを目的としています。まずはその情報を入手し、第2回目以降のアンケートに活用し掘り下げていきます。

Q：小熊孝幸理事

アンケートの回答数はどの程度あれば有効と考えていますか。

A：兼古健太 まちづくり委員会委員長

400名の回答を目標としています。統計上約380名程度のアンケートを入手できれば、1万人でも10万人でも誤差5%以内の情報となるからです。

O：西方太地理事

SNSをしている方から400名程度にアンケートの回答を入手する予定とあります。母集団の設定上、SNSをしている方のみを対象にしたのでは、長岡の若者全体の特性を表すものではなくなってしまいます。

現状のアンケートの入手方法では、長岡の若者全体の特性を表すような母集団の設定が行われていないため情報収集目的に合わないものとなります。

A：兼古健太 まちづくり委員会委員長

一考させていただきますが、SNSをしているのかどうかにより何か違いが生じますでしょうか。意見をいただけますでしょうか。

O：西方太地理事

現状のSNSを利用している400人の若者からのアンケートを行った場合、長岡の若者全体の特性を表した内容とは言えないため。門戸を広くし、年代や職業等に偏りなくアンケートを入手するために、大学、専門学校や企業の若者からのアンケートもとるべきではないでしょうか。

A：兼古健太 まちづくり委員会委員長

SNSをしている方に限定して入手したアンケートでは意味がないということでしょうか。

O：西方太地理事

長岡全体の若者の意見を表す情報の入手を目的とするのであれば、SNSをしている方に限定して行ったアンケートは、長岡全体の若者の意見を表すものとは言えないため、その目的となる情報入手のためには、偏りがなきようにアンケートの回答を入手する方法を検討した方がよいと考えます。

O：西方太地理事

議案の中で、9月に長岡市へ提言書を提出する予定とあります。SNS利用者に限定して行ったア

アンケート結果を、長岡全体の若者の意見を表す情報として仮定し、提言書を作成し提出することは問題があるのではないのでしょうか。

O：山本晃弘理事

議案が協議、審議と進む中で、2回目以降のアンケート内容について明確にする必要があります。

A：兼古健太 まちづくり委員会委員長

2回目以降のアンケートについては、その回答次第により、背景や目的に沿った内容にて掘り下げたいと考えています。あらかじめ限定する必要はないと考えています。

O：山本晃弘理事

上程スケジュールのフォントの統一をお願いします。

Q：西方太地理事

今後長岡市へ対して行うことは提言書の提出なののでしょうか。それともアンケートの結果報告のでしょうか。

A：兼古健太 まちづくり委員会委員長

食糧支援時のアンケート結果において新潟県内に就職したいと答えた方は全体の11%でした。アンケート上では、長岡市に住みたい働きたい企業がない等の声が多かったです。このような声を拾い、アンケートの内容を掘り下げていくことで、政策提言として企業誘致等の提言を行うことが考えられます。

O：西方太地理事

長岡市に対して行うことは、提言書、報告書、意見書、調査結果の報告なのかを明確にしておくことが必要ではないのでしょうか。

A：兼古健太 まちづくり委員会委員長

アンケート結果を踏まえ委員会にて検討いたします。スケジュールの変更はあるかと思いますが、どのような提言書になるかについては、今後しっかりと考えていきます。

以後の内容については、次回の理事会上程の際に回答を行うことになった。

Q：白井忍理事

プレゼントとしてQuoカードの金額高額と考えますので、次回その説明をお願いします。

【結果】次回再上程となった

(3) 65周年特別事業 Hope for the world 事業報告並びに決算(案)について

【説明】関光太常任理事

こちらの議案につきまして、既に理事会を通過しましたが、昨今の状況により実施できなくなりました。そのため報告として上程させていただくものです。詳細につきましては、まちづくり委員会委員長及びおまつり委員会委員長より説明をお願いします。

【説明】中村洋志 おまつり委員会委員長

理事の皆様からご承認いただき、迅速に取り組んでまいりましたが、実施に至らぬという結果とな

りました。最善は尽くしたとっております。このような形となりましたことを改めてご説明させていただきます。

【説明】 兼古健太 まちづくり委員会委員長

ご承認いただきましたが実施に至らぬ結果となりました。これも長岡花火の中止の影響が大きかったといえます。長岡市とパートナーシップを組んでいる以上、その意向を汲み取った中での判断です。理事長にも動いていただきましたが、最善を尽くした結果と感じています。

今泉知久理事長より、審議格上げの動議が上がった。

セカンド：荒木法子 より良く長く委員会委員長

【採決】 挙手によって行われた。

【採決結果】 出席理事全員の賛成により審議格上げが承認された。

【説明】 関光太常任理事

今ほどは審議格上げありがとうございます。引き続き慎重審議宜しくお願い致します。

【説明】 中村洋志 おまつり委員会委員長

今ほどは審議格上げありがとうございます。引き続き慎重審議宜しくお願い致します。

【説明】 兼古健太 まちづくり委員会委員長

今ほどは審議格上げありがとうございます。引き続き慎重審議宜しくお願い致します。

しばらく待って質問等が無かったため、採決となった。

【採決】 挙手によって行われた。

【採決結果】 出席理事全員の賛成により承認可決された。

(4) 一般社団法人長岡青年会議所 祈念誌～明るい未来を祈念し希望に繋ぐ～ 事業計画並びに予算(案)について

【説明】 細川一彦副理事長

こちらの議案につきまして、前回の臨時理事会にて部分審議をいただいたものです。理事の皆様からの意見を反映し、主に議案の後半部分について委員会全員で検討してまいりました。詳細につきましては、土田慶和 65周年特別委員会委員長より説明をお願いします。

【説明】 土田慶和 65周年特別委員会委員長

「祈念誌～明るい未来を祈念し希望に繋ぐ～」の事業計画を上程させていただきます。こちらは、今までに正副常任会議5回、理事会3回の上程を行ってまいりました。今回の変更点は、「巨人の肩」に関する部分について検討を行ったこと、メールマガジンを活用し制作内容・取材内容を現役メンバーに発信し「希望抱けるまち長岡」について感じてもらうことを加えています。皆様の忌憚なきご意見をいただければと思います。

○：小熊孝幸理事

事前に委員長と話し合いをさせていただき、「巨人の肩」の内容について理解できました。これ以上、意見や質問はありません。

○：荒木法子 より良く長く委員会委員長

事前に委員長と話し合いをさせていただき内容について理解しました。意見や質問はありません。

○：兼古健太 まちづくり委員会委員長

「巨人の肩」の内容については、対外に発信するものである以上、直前理事長・理事長・次年度理事長候補者による三者対談の記事のみならず、昔を振り返り、今の頑張りに繋がっているという意味を込めるため、時の理事長との対談記事も検討してはいかがでしょうか。

A：土田慶和 65周年特別委員会委員長

「巨人の肩」に関する取材は、時のチーフや委員長からのインタビューのみならず、深掘りする必要があると、当然に時の理事長の方にも取材を行う必要があると考えています。

○：米山悟史理事

取材対象にインパクトのある事業をピックアップしていただきたいと思います。

A：土田慶和 65周年特別委員会委員長

承知いたしました。

○：佐藤太洋理事

私は、60周年事業の時にサブチーフとして歴代理事長の取材をさせていただきました。

その時の取材で聞いた内容は非常に勉強になり今でも記憶に残っています。是非とも新入会員の方も連れて取材を行うことを検討していただきたいと思います。

A：土田慶和 65周年特別委員会委員長

取材については新入会員も交えて行います。その点については、渡邊雄也 人財育成委員会委員長からの了解を得ています。また、コロナ禍の中でもありますので、ソーシャルディスタンスや感染症対策を徹底して取材を行う予定です。

今泉理事長より、審議格上げの動議が上がった。

【採決】 挙手によって行われた。

【採決結果】 出席理事全員の賛成により審議格上げが承認された。

【説明】 細川一彦副理事長

今ほどは審議格上げありがとうございます。本日は委員会メンバー総出にてオブザーブ参加をさせていただいております。引き続き慎重審議宜しくお願い致します。

【説明】 土田慶和 65周年特別委員会委員長

今ほどは審議格上げありがとうございます。引き続き慎重審議宜しくお願い致します。

Q：小熊孝幸理事

メールマガジンのイメージについて教えてください。

A：土田慶和 65周年特別委員会委員長

委員会からの一方通行とならないように取り組みます。まず皆様に読んでいただき、一緒に「祈念

誌」を作っていくという気概を高めていきたいと考えています。

Q：小熊孝幸理事

祈念誌への想いについて教えてください。

A：土田慶和 65周年特別委員会委員長

事業目的である、「夢あふれる社会」の創造に対する熱意、並びに「希望抱けるまち長岡」への期待感を感じていただくとともに、メンバーが個々の活動意欲を高めていただくことを目的としていますので、その達成ができるように全力で取り組みます。

上記の他、質問等が無かったため採決となった。

【採決】挙手によって行われた。

【採決結果】出席理事全員の賛成により承認可決された。

65周年特別委員会 吉沢岬チーフより一言

この度は、審議格上げ及び審議可決をいただきありがとうございました。また、このような機会をいただきありがとうございます。これから実働となりますので、メンバー活動意欲を高め、希望抱けるまち長岡を感じていただけるように、委員会メンバー全員で活動を行ってまいります。活動に際して皆様からのご協力もお願いしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

土田慶和 65周年特別委員会委員長より一言

この度は、審議格上げ及び審議可決をいただきありがとうございました。事業を進めるにあたり皆様の活動意欲を高めていくことが重要であると考えています。長岡青年会議所の約半数が入会3年未満のメンバーです。そのため、過去を振り返り知ることも重要と言えます。メールマガジンを活用し、皆様の委員会へ伺い、多くのメンバーを巻き込んだ事業活動となるように取り組みます。また、理事の皆様からもご協力いただき、誰が見ても素晴らしい祈念誌となるように委員会メンバー一丸となり「祈念誌」の作成をしていきますので、宜しくをお願いいたします。

(5) 9月担当例会「そして歩き出す～ミライへ向けてイマと向き合う～」事業計画並びに予算(案)について

【説明】五十嵐佑一常任理事

まずは、9月例会の議案の上程が遅くなりましたこととお詫び申し上げます。このようなコロナ禍の中でもできることを模索し検討してまいりました。現状において、スポーツに取り組んでいる子供たちは困難な状況に直面しています。甲子園やインターハイの中止となりました。代替りとなる大会等の開催予定はありますが、今までスポーツに邁進してきた子供たちに喪失感が生まれている状況です。今回の議案は、子供たちがスポーツを通じて得られるものの尊さ、目標に向かって邁進する前向きな気持ちを得られる事業内容となるように議案を構築しました。内容は、アルビレックス新潟のサッカー選手である早川史哉氏に、高校生を対象とした講演会をオンラインにて行っていただきます。その内容を編集し、長岡青年会議所メンバー対象とした例会を行います。その後最終的には、YouTubeにて配信し、多くの人に視聴をしていただくという内容となっています。

詳細につきましては、小川文太 青少年スポーツ推進委員会委員長より説明をお願いします。

【説明】小川文太 青少年スポーツ推進委員会委員長

9月担当例会「そして歩き出す～ミライへ向けてイマと向き合う～」事業計画並びに予算（案）についての上程をさせていただきます。当議案は、当初委員会の事業計画を立てた時とは異なりますが、今この状況下において、子供たちに対してできることを考え委員会にて検討してまいりました。皆様の忌憚なきご意見をいただければと思います。

O：米山悟史理事

背景において「新型コロナウイルス感染症」の影響によりスポーツ大会が中止や延期とあります。スポーツが従来通りできないことに関しての外的要因による影響と、今回の講師である早川氏は内的要因によるものではないのでしょうか。

A：小川文太 青少年スポーツ推進委員会委員長

講師の早川氏は、自身の白血病という困難を乗り越えて復帰されています。「新型コロナウイルス感染症」に限らず、その困難を乗り越えることについて共感し、刺激を受けることができると考えています。

Q：米山悟史理事

背景について「新型コロナウイルス感染症」の影響という記載は必要でしょうか。

A：小川文太 青少年スポーツ推進委員会委員長

現状「新型コロナウイルス感染症」の影響により、大会の開催等ができていないという事実があるため当該記載は事実でもあるため必要と考えます。

Q：佐藤太洋理事

参加人数を20人に絞った理由について教えてください。

A：小川文太 青少年スポーツ推進委員会委員長

ある程度人数を絞ることで、質疑内容をきちんと整理した上で、早川氏と高校生が対話できるような環境作りが可能と考えています。また、YouTube配信の際に同じ画面にて固定配信できるためでもあります。

O：佐藤太洋理事

ZoomによるWeb配信は1000人でも対応可能です。リハーサルでも十分に実施可能か検証ができます。そのため参加人数を絞った理由が、背景及び目的と整合しなくなることを踏まえ今一度委員会にて検討していただけますでしょうか。

A：小川文太 青少年スポーツ推進委員会委員長

参加人数について、委員会内にて一考させていただきます。

Q：下条祐貴 総務委員会 委員長

記念撮影を行う目的について教えてください。

A：小川文太 青少年スポーツ推進委員会委員長

講演会に意味合いを持たせ、参加者の記念や思い出となるため取り入れています。

O：下条祐貴 総務委員会 委員長

記念撮影を20人の参加人数に限定して行う意味が乏しく重要性が低いのであれば記念撮影を行う必要はないのではないのでしょうか。

A：小川文太 青少年スポーツ推進委員会委員長

記念撮影はZ o o mによるW e b配信にて一画面にて収まるため対応可能と考え議案に加えています。記念撮影をするかどうかについては、今一度委員会内にて検討します。

O：丸山利彦理事

対外的に「スポーツを通じて得た経験を今後の人生に生かす契機として頂きます。」との記載がありますが、事業内容（手法）との関連が不明です。

A：小川文太 青少年スポーツ推進委員会委員長

早川氏の講演内容や質疑応答の際に、その目的を達成するような内容を盛り込む予定です。

Q：田中勝也理事

サブタイトルに込めた想いについて教えてください。

A：小川文太 青少年スポーツ推進委員会委員長

講師の早川氏の本からの引用部分もありますが、現在や未来に向けて、これからの人生に向けてのメッセージを込めています。

Q：高頭直人理事

対象が高校生のみとなっていますが、議案の「対外配布資料の有無」の箇所にも市内中学校向けにもチラシを配布する内容となっています。その理由について教えてください。

A：小川文太 青少年スポーツ推進委員会委員長

中学生が聞いても分かりやすく十分に理解できる内容となっていますので、配布資料先に加えています。

Q：菊地恭平理事

対外的において、子供と大人を対象者として記載していますが、同じ事業でありながら、両者に感じてもらいたい事が相違する理由について教えてください

A：小川文太 青少年スポーツ推進委員会委員長

青少年系の委員会ということで、基本的には子供達を対象にした事業となります。子供を支えている大人も、子供に対する関心を持ち、前向きな気持ちになっていただきたいと考えています。そのため両者を対象として記載しています。

O：菊地恭平理事

大人でも乗り越えなければいけない壁や共感する部分はあると思います。そのため背景を新型コロナウイルス感染症による影響として限定するのではなく、様々な困難がある中でそれを乗り越えていく等の内容に変えることが背景を絞らない事こととなりますので、事業目的との整合性が生まれるのではないのでしょうか。

A：小川文太 青少年スポーツ推進委員会委員長

背景は事実を記載する部分であると考えています。今回記載した背景をもとに目的を考えています。委員会内にて検討はさせていただきますが、背景は委員会内でも十分に検討してまいりましたので、基本的に変更は行わないものと考えています。

O：矢澤貴史理事

背景において新型コロナウイルス感染症として限定することなく、皆が抱えている問題はそれぞれ異なるため限定する必要はないと考えます。

A：小川文太 青少年スポーツ推進委員会委員長

先ほどの菊地恭平理事の件と合わせて、一考させていただきます。

Q：渡邊雄也 人財育成委員会委員長

例会当日において、高校生向けに行った講演会と同じ内容の映像を配信する理由について教えてください。

A：小川文太 青少年スポーツ推進委員会委員長

講演会は1時間30分を想定しています。例会時及びYouTube配信する映像は内容をまとめて、分かりやすくしたものを配信する予定です。

Q：渡邊雄也 人財育成委員会委員長

JCメンバーが映像を観た時にどのような効果がありますか内。

A：小川文太 青少年スポーツ推進委員会委員長

目的にも記載していますが、未来に向けて前向きに考えることのできる設営内容となっていますので、目的にも合致した効果があると考えます。

Q：赤川朋哉 平和の想いを結ぶ委員会委員長

応募規約にて団体申込について制限を設ける旨の記載があるが、制限を設ける場合はどの程度でしょうか。

A：小川文太 青少年スポーツ推進委員会委員長

基本的に単一の団体のみが参加することは予定していません。多くの方からのご参加を頂きたいと考えています。一団体では2～3人程度を上限に検討しています。

O：赤川朋哉 平和の想いを結ぶ委員会委員長

ネット環境の安定性を理由に人数制限をされていますが、例えば部活単位の参加であれば、参加枠は1枠となりますが、その1枠の中に部員を複数交え参加することが可能ではないでしょうか。

A：小川文太 青少年スポーツ推進委員会委員長

意見をいただいた事項については委員会において検討していない事項につき、一考させていただきます。

【結果】次回再上程となった。

17. 監事講評

：高見礼央監事

理事会お疲れ様でした。65周年特別委員会の皆様、「祈念誌～明るい未来を祈念し希望に繋ぐ」の議案通過おめでとうございました。この度「祈念誌」を作成されるということですが、かつて今井進太郎先輩が50周年の冊子をみて入会を決意したというエピソードがあります。今回の「祈念誌」が、誰かの心動かす「祈念誌」となることを期待しています。

これから議案を通過した委員会は、時間も限られた中でアクセルを全開にして取り組んでいきますが、理事の皆様におかれましては、議案を通過した事業については全力で協力をお願いするとともに、ブレーキの役割を果たしていただきたいと思います。委員会はアクセルを踏み、理事の皆様には行き過ぎた場合

にはブレーキをかけていただき、その調和を保つことが大切です。そのような組織だからこそ、長岡青年会議所は存在意義があり、しっかりとした団体であるという評価を受けていると言えます。

これから、2020年度も後半戦へと入ります。理事の皆様におかれましては事業に対する意義をしっかりと落とし込んでいただきたいと思います。そのために以下の2点について慎重に検討をお願いします。

まず1点目は、その事業が必要かどうかです。必要でない事業を行う事は自己満足でしかなく、実施する必要はないと言えます。次に2点目として、その事業が次につながるかどうかです。何かの真似事であってはけません。次につながるものでなければその事業に意義はありません。改めて、この2点を意識して落とし込み、2020年度の後半戦にむけた活動に役立てていただきたいと思います。

以上